

## 成田市国民健康保険運営協議会会議概要

### 1. 開催日時

平成25年7月18日（木）午後2時00分～午後3時25分

### 2. 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟 3階執行部控室

### 3. 出席委員

今井委員、丸委員、大貫委員、椿委員、小幡委員、太田委員、  
藤崎委員、眞鍋委員、大廣委員、設楽委員、小柳委員、秋山委員

### 4. 市側出席者

小泉市長、藤崎市民生活部長

（事務局職員）

葛生保険年金課長、山下納税課長、大竹納税課長補佐、宮野納税課  
徴収係長、須賀澤保険年金課長補佐、高橋保険年金課資格課税係長、  
内田保険年金課給付管理係長、岩澤保険年金課主査

### 5. 議題等

（1）会長及び会長職務代理者の選出

（2）報告第1号 成田市国民健康保険税条例の一部改正について  
（地方税法の一部改正に伴う専決処分の報告）

（3）報告第2号 成田市国民健康保険税条例の一部改正（案）につい  
て（地方税法の一部改正に伴う改正）

（4）報告第3号 成田市国民健康保険税条例施行規則の一部改正（案）  
について（様式の一部変更）

- (5) 報告第4号 平成24年度成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について
- (6) 報告第5号 平成24年度成田市国民健康保険特別会計（施設勘定）歳入歳出決算（案）について

## 5 議事（要旨）

会長及び会長職務代理者の選出については、会長に設楽委員、会長職務代理者に小柳委員を選出する。報告第1号成田市国民健康保険税条例の一部改正について、報告第2号成田市国民健康保険税条例の一部改正（案）について、報告第3号成田市国民健康保険税施行規則の一部改正（案）について、事務局より内容を説明する。

（質疑なし）

報告第4号平成24年度成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について、事務局より説明を行う。

質問 国民健康保険税の千葉県の平均収納率と成田市が何番目くらいなのか伺いたい。また、国保加入者の年齢構成別の割合を伺いたい。

答え 県の平均収納率と成田市の順位については、現在、県で集計中ですので、次回会議までに提示したい。23年度については、県内53市町村中36位で、87.09%でした。

国保加入者の年齢構成別の割合ですが、23年度の状況を申し

上げますと、60歳以上の方が41.4%、65歳以上の方が26.5%を占めており、65歳以上の方の医療費については、44%を占めております。

質問 1点目ですが、成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）で、決算額が前年度と比較して伸びており、繰入金が大幅に減っている理由はなぜか。

2点目は、今後の繰入金の考え方を、どういう方向で考えているか。

3点目は、成田市の国民健康保険税が安いのか、高いのか解らない。市外から引っ越してきた方から伺うと安いのが解るが、国保税が安いのは、繰入金に関係しており、これが特徴だが、被保険者にこの利点を周知し、理解していただき、納付率、納税意識に結び付けたらどうか。

答え 1点目の、24年度の決算状況ですが、国補助金が東日本大震災の対策費として2億円程増加しており、繰入金の減額に繋がっている。

2点目の繰入金は、歳入の不足額を補填するため一般会計から10億円を超える額を繰り入れている。

平成8年度に3億円減税として繰り入れを行い、その後、年々増加している状況にある。今後も繰入金が増加する傾向にあることから、本年度に2億円の税率引き上げを行った。繰入金は10億円程度に抑えたいので、今後も増加する場合は国保税率の引き上げを検討したい。

3点目ですが、本市の一人当たりの国保税は、繰入金により低

く抑えている状況にあり、県内平均より約2万円安い状況にある。

医療費の削減が、国保税の抑制に繋がることから、ジェネリック医薬品の使用促進を図りたい。

質問 ジェネリック医薬品の差額通知を、被保険者の方に通知しているとのことでしたが、いつから出し始めたのか。

答え ジェネリック医薬品の差額通知については、本年度の新規事業として、年4回を予定しております。1回目は6月13日に発送しました。対象者が2,393人、40歳以上で、ジェネリック医薬品に変更した場合、1ヶ月の本人負担金が200円以上安くなる方に送付たいしました。今後は9月、12月、3月に同様の内容で発送を予定しております。

会議の概要は、以上のとおりです。

## 6 傍聴

傍聴者なし

## 7 次回開催日（予定）

平成26年 1月下旬～ 2月上旬